

看護大学 だより

#17

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します!



学生交流会—新入生を迎えて

本学では、1期生入学の折に新入生研修会の一環として、教職員を交えた交流を開始した。2期生以降になると上級生を交えて、スポーツや茶話会での情報交換など学年を越えた相互交流を続けてきた。しかしながら、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、緊急事態宣言下、入学式をはじめこの学生交流会も中止せざるを得なかった。そして今年もコロナは去っていない。今回も中止か…諦めかけたその時、閃いたのだ。Web会議システム、Zoomを活用してやるのだと。

各自、スマホやパソコン画面を見ながら事前に配られたお茶で乾杯し、第一部は開幕した。初対面同士が多い中、交流会が成り立つのかと不安な気持ちもあったが、ビンゴゲームでは、画面越しに写る学生達の笑顔をたくさん見ることができた。やはり景品があると盛り上がる。第二部は学年対抗の「ものしりとり」だ。お題に合わせて家にある物を画面越しに見せ、次の人がその物の名前の語尾から始まるものを探してくるルールだ。画面の向こうで走り回っている人は真剣だが、見ている方は大いに楽しんだ。最後はオンライン茶話会。学生同士の忌憚のない情報交換を邪魔しないよう、教員たちはそと画面から消えたのであった。

やりたいことができない、と嘆いてばかりもいられない。交流会も講義も演習も実習も、私たちは今だからこそできる方法を学生とともに模索し続ける。

(大久保つや子・寒水章納)



短大 VOICES #17

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を育てている
短大の情報をお届け!



福岡医療短期大学
青山理恵
(13期生)

短大実習生へ、エールを!!

私は現在、福岡歯科大学医科歯科総合病院総合歯科・高齢者歯科に勤務しています。診療補助業務や保健指導業務が仕事の中心となり、様々な患者さんに対応し、日々楽しく仕事をしています。また、臨床実習部会のリーダーとして、母校である福岡医療短期大学の臨床実習が有意義かつ安全に進行するように、病院衛生士と短大教員との連携役をしています。教育業務は、「指導」の勉強となるばかりでなく、自分の知識を確認、更新をする良い機会となっています。私の学生時代の臨床実習で思い出深いのは、専攻科生(口腔外科)の時に、手術室で全身麻酔手術の直接介助に挑戦したこと。最初は、なかなかすぐに手が動かなかったのですが、手術のスピードに追いつかなくちゃ、という気持ちで、積極的に勉強したり、周囲に質問する態度となりました。臨床実習生の皆さんには、「実習は見てなんぼ、やってなんぼなので、積極的に見て、挑戦して、たくさん臨床を経験してほしい」とエールを送ります!

福岡医療短期大学のことがよくわかる
Online Open Campus

